

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

2目 林業振興費<地方機関計上予算>

八頭総合事務所農林局(0858-72-3830)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
森林セラピーの郷づくり支援事業	10,278	150	10,128				10,278	
トータルコスト	13,505千円(前年度3,464千円)[正職員:0.4人]							
主な業務内容	森林セラピー連絡会議に係る企画調整・運営事務、森林セラピー周知活動、補助金事務など							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

智頭町が取り組む「森林セラピーの郷づくり」を推進するため、森林セラピーについて広く普及・宣伝するとともに、森林セラピー基地の普及啓発及び体験施設等整備について支援する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
森林セラピー連絡会議	森林セラピーの情報交換や周知活動等の実施	県	545	545	-
(新)森林セラピー基地普及啓発支援事業	森林セラピー基地の普及啓発等を支援 ・基地認定イベント ・モニターツアー等	智頭町	2,800	1,400	県1/2
(新)森林セラピー重点施設整備戦略的支援事業	森林セラピー基地における体験施設等の整備を支援 ・体験施設、ログハウス ・トイレ等	智頭町	50,000	8,333	県1/6
合計			53,345	10,278	

3 これまでの取組状況、改善点

<取組状況>

- ・大学や報道機関、旅行会社等からの参加を得て、8月と11月に森林セラピー連絡会議を開催
- ・スギを使った森林セラピーを推進できる弁当容器開発について智頭町を支援

<自己分析>

- ・森林セラピーの普及推進のため、勉強会やイベント開催などの活動が必要。智頭町の先進的な取組みを支援することにより、その定着を図りたいところ。

【参考】森林セラピーについて

森林セラピーは、森林浴で得られる森林の癒し効果やリラックス効果を医療やリハビリテーション、カウンセリングに利用する療法(セラピー:therapy)

平成22年4月には、智頭町が森林セラピー基地に認定される予定